

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	1
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	土木課	
基本方針		I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成				
施策体系		方向性	1_自転車通行空間等の整備			
		施策	1 自転車ネットワーク計画の策定の検討			
根拠事業		益田市自転車ネットワーク計画の策定完了				
実施主体		国土交通省、島根県益田県土整備事務所、島根県益田警察署、益田市				
取組内容		自転車ネットワーク計画策定推進会議の開催 計画の策定				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	—	—	
		R2	—	—	C*	
		R3	—	新年度予算要求済	A*	
		R4	—	事業着手	A*	
		R5	益田市自転車ネットワーク計画に基づく整備形態の検討	完了	A	
		R6	益田市自転車ネットワーク計画に基づくハード整備の進捗が10%を超えているか			
評価理由		目標としていた益田市自転車ネットワーク計画に基づく整備形態の検討が完了したため				
今後取組		計画の着実な履行				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	2
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	土木課
基本方針	I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成				
施策体系	方向性	1_自転車通行空間等の整備			
	施策	2 自転車通行空間の効果的かつ効率的な整備の推進			
根拠事業	益田市自転車ネットワーク計画に基づくハード整備の完了				
実施主体	国土交通省、島根県益田県土整備事務所、益田市				
取組内容	益田市自転車ネットワーク路線整備推進部会を開催し、整備形態の検討状況及び次年度の予算確保状況並びに当該年度の実施状況を確認する。（年2回開催予定）				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	—	—	—	
	R2	—	—	C*	
	R3	—	—	C*	
	R4	—	ネットワーク計画の立案に着手できた	B*	
	R5	益田市自転車ネットワーク計画に基づく整備形態の検討	益田市自転車ネットワーク計画策定完了 工事に一部着手	A	
	R6	益田市自転車ネットワーク計画に基づくハード整備の進捗が10%を超えているか			
評価理由	益田市自転車ネットワーク計画策定が完了し、目標として整備形態の検討のみならず、工事に一部着手しているため。				
今後取組	ハード整備事業費の確保				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	3
実施期間	長期	重点施策		担当課名	都市整備課
基本方針	I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成				
施策体系	方向性	2_公共駐輪施設の利便性の向上			
	施策	3 公共駐輪施設の拡充と利用方法の周知、利用環境の向上			
根拠事業	-				
実施主体	益田市				
取組内容	-				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	-	-	-	
	R2	-	-	C*	
	R3	-	-	C*	
	R4	-	-	C*	
	R5	-	益田駅前ビル駐輪場の定期利用について、生徒保護者に利用方法等の周知を図った。	B	
	R6	未定			
評価理由	公共駐輪施設を利用する高校生や保護者に利用方法の周知を図ったため。				
今後取組	公共駐輪施設に係る広報等について検討中				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	4
実施期間	長期	重点施策		担当課名	連携のまちづくり推進課（観光交流課）	
基本方針	I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成					
施策体系	方向性	3_公共交通との連携				
	施策	4 地域や利用者ニーズに応じた公共交通との連携検討				
根拠事業	-					
実施主体	(益田市)					
取組内容	サイクルトレインやサイクルアンドバスライドの導入等の検討					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	-	-	-		
	R2	-	-	C*		
	R3	-	-	C*		
	R4	-	-	C*		
	R5	-	四市長会においてサイクルトレインについて協議	B		
	R6	-				
評価理由	四市長会（長門・萩・益田・浜田）において、JRの利用促進対策としてサイクルトレインについて協議したため					
今後取組	公共交通事業者や関係機関との連携					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	5
実施期間	長期	重点施策		担当課名	人事課
基本方針	I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成				
施策体系	方向性	4_自転車通勤の促進			
	施策	5 自転車通勤・業務上の自転車利用等の促進、情報提供			
根拠事業	通勤届				
実施主体	益田市				
取組内容	庁内での毎月8日のマイサイクルデーの呼びかけを実施し、行政職員による実施モデルを展開				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	—	34人	—	
	R2	—	39人	A*	
	R3	—	41人	A*	
	R4	—	38人	C*	
	R5	42人	43人	A	
	R6	44人			
評価理由	目標人数を超えているため				
今後取組	継続したマイサイクルデーの呼びかけ				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	6
実施期間	短期	重点施策		担当課名	観光交流課
基本方針	I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成				
施策体系	方向性	4_自転車通勤の促進			
	施策	6 (仮称) 自転車通勤促進宣言企業の創設の検討			
根拠事業	-				
実施主体	企業、益田市				
取組内容	サイクリストサポート企業への自転車通勤に関する調査を行う。				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	-	-	-	
	R2	-	-	C*	
	R3	-	-	C*	
	R4	-	-	C*	
	R5	サイクリストサポート企業に対する自転車通勤取り組み状況調査	未実施	C	
	R6	(仮称) 自転車通勤促進宣言企業の創設の検討する			
評価理由	調査の実施に至らなかったため				
今後取組	(仮称) 自転車通勤促進宣言企業の創設の検討する				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	7
実施期間	短期	重点施策		担当課名	観光交流課
基本方針	I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成				
施策体系	方向性	5_自転車の活用促進における市民意識の定着			
	施策	7 マイサイクルデー、市民意識の把握・評価方法の導入			
根拠事業	通勤届				
実施主体	益田市				
取組内容	庁内での毎月8日のマイサイクルデーの呼びかけを実施し、行政職員による実施モデルを展開				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	—	34人	—	
	R2	—	39人	A*	
	R3	—	41人	A*	
	R4	—	38人	C*	
	R5	42人	43人	A	
	R6	44人			
評価理由	マイサイクルデー（8のつく日）の呼びかけを定期的に行い、目標を超えた43名の職員が自転車通勤をしているため				
今後取組	継続したマイサイクルデーの呼びかけ				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	8
実施期間	長期	重点施策		担当課名	環境衛生課
基本方針		I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成			
施策体系		方向性	5_自転車の活用促進における市民意識の定着		
		施策	8 環境美化活動の推進		
根拠事業		—			
実施主体		自治会・事業所等			
取組内容		ボランティア活動により排出された草等の回収			
進捗管理			目標	実績	評価
		R1	—	45,670kg	—
		R2	—	38,860kg	A*
		R3	—	39,550kg	A*
		R4	—	40,030kg	A*
		R5	回収の要望には全て対応 (39,000~42,000kg)	45,920kg 見込み	A
		R6	回収の要望には全て対応 (42,000~46,000kg)		
評価理由		新型コロナウイルス感染症の影響で自粛していたボランティア活動が再開されたことにより回収量が増加したが、回収の要望に全て対応することができた。			
今後取組		回収の要望には全て対応			

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	9
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	観光交流課
基本方針	I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成				
施策体系	方向性	6_レンタサイクルによるまち乗りの推進			
	施策	9 市民や来訪者の手軽な交通手段としてレンタサイクルのPR・利便性の向上			
根拠事業	サイクリストおもてなし事業				
実施主体	一般社団法人益田市観光協会				
取組内容	レンタサイクルを益田市観光協会に設置				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	—	レンタサイクル利用者数 597人	—	
	R2	—	レンタサイクル利用者数 346人	C*	
	R3	—	レンタサイクル利用者数 417人	B*	
	R4	—	レンタサイクル利用者数 559人	B*	
	R5	レンタサイクル利用者数 580人	レンタサイクル利用者数 490人※R5.4~R6.1時点	B	
	R6	レンタサイクル利用者数 600人			
評価理由	残すところあと2か月の実績はまだ出ていないが、目標としている580台は超えそうにないため。				
今後取組	継続したレンタサイクルの広報				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	10
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針		I 自転車を快適に利用することができる“まち”の形成				
施策体系		方向性	7_自転車利用促進に向けた広報啓発			
		施策	10 自転車利用を含めた総合的な広報啓発の推進			
根拠事業		—				
実施主体		益田市、益田市観光協会				
取組内容		市ホームページでの情報発信及び益田市観光協会Webサイトでイベント等情報発信を行う。				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	観光協会HPでの広報	—	
		R2	—	観光協会HPでの広報	C*	
		R3	—	市HPリニューアルに伴い、観光特設サイトでのレンタサイクルPR、自転車関連の取り組みページでのPRを実施	B*	
		R4	—	観光協会や市HPでの広報 市広報誌への掲載（計画や取組内容）	B*	
		R5	多方面への新たな広報啓発を検討	R5.4のヘルメット着用の努力義務化に伴う広報誌での広報	B	
		R6	多方面への新たな広報啓発を検討			
評価理由		ヘルメット着用に関する努力義務化等の広報はしたものの、目標としていた「多方面への新たな広報啓発」はさらに検討が必要であるため。				
今後取組		各サイト等でのPRを充実させるとともに、多方面への新たな広報啓発を検討				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」=参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	11
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	観光交流課(都市整備課)	
基本方針		Ⅱ 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換				
施策体系		方向性	8_誰もが安心かつ気軽に楽しめるサイクリング環境の整備			
		施策	11 高津川河川管理道等の利活用による新たなサイクリングコースの検討・環境整備			
根拠事業		益田市高津川かわまちづくり協議会				
実施主体		地元住民、市民団体、NPO法人、事業所、益田市、				
取組内容		令和4年8月に登録された「益田市高津川かわまちづくり計画」の事業を推進する、「益田市高津川かわまちづくり利活用維持管理推進協議会（仮称）」を立ち上げ、具体的な維持管理や利活用について検討する（年2回開催予定）				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	協議会設立検討	—	
		R2	—	協議会設立・開催 4回	A*	
		R3	—	協議会開催 3回	A*	
		R4	—	計画登録 利活用推進協議会準備会の実施	A*	
		R5	益田市高津川かわまちづくり利活用維持管理推進協議会（仮称）の設立	益田市高津川かわまちづくり利活用維持管理推進協議会を設立。協議会を2回開催。	A	
		R6	利活用・維持管理の検討 整備事業の実施			
評価理由		協議会を立ち上げ、協議を進めているため。				
今後取組		利活用推進協議会の開催				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	12-1
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針		Ⅱ 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換				
施策体系		方向性	9_自転車に親しむ機会の創出			
		施策	12_誰でも気軽に参加できる市民向けサイクルイベントの開催			
根拠事業		自転車活用推進事業				
実施主体		市民団体、NPO法人、自治組織、企業				
取組内容		市民向けサイクリングイベントの開催支援を行う (R4年度以降益田市自転車活用推進事業補助金)				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	5回	—	
		R2	—	1回	C*	
		R3	—	2回	C*	
		R4	—	補助金 2件 開催支援 1件	C*	
		R5	4回	補助金 5件 (見込み) 開催支援 2件 (見込み)	A	
		R6	8回			
評価理由		補助金周知により、補助金を活用したサイクリングイベント増のため				
今後取組		イベント実施や実施者の支援について検討する				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	12-2
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	協働のひとづくり推進課	
基本方針	Ⅱ 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換					
施策体系	方向性	9_自転車に親しむ機会の創出				
	施策	12_誰でも気軽に参加できる市民向けサイクルイベントの開催				
根拠事業	サイクルスポーツ振興事業					
実施主体	一般社団法人 益田市スポーツ協会					
取組内容	広く市民が自転車に親しむ環境の整備					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	—		
	R3	—	—	—		
	R4	—	—	—		
	R5	2回	2回（2回目は見込み）	A		
	R6	2回	—	—		
評価理由	サイクリングを活用したイベントを2回するように一般社団法人益田市スポーツ協会へ委託契約しており、達成する見込みのため。					
今後取組	イベント実施や実施者の支援について検討する					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	12-3
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	協働のひとづくり推進課	
基本方針	Ⅱ 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換					
施策体系	方向性	9_自転車に親しむ機会の創出				
	施策	12_誰でも気軽に参加できる市民向けサイクルイベントの開催				
根拠事業	サイクルスポーツ振興事業					
実施主体	市民団体、NPO法人、自治組織、企業等					
取組内容	未経験者でも気軽に参加でき、市民も一緒に楽しめるイベントの実施					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	—		
	R3	—	—	—		
	R4	—	—	—		
	R5	2回	0回	C		
	R6	—	—	—		
評価理由	サイクルスポーツ振興事業補助金の活用し、だれでも参加できるイベントを実施する見込みがあるが、申請や交付決定までには至っていない。					
今後取組	サイクルスポーツ振興事業補助金の活用について、周知を図る					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	13-1
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	危機管理課	
基本方針		Ⅱ 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換				
施策体系		方向性	9_自転車に親しむ機会の創出			
		施策	13 初心者から参加できる自転車教室の開催			
根拠事業		交通安全子供自転車島根県大会				
実施主体		益田市交通安全協会				
取組内容		小学生に自転車等の交通安全ルールとマナーを身に付けさせる				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	1校	—	
		R2	—	イベント中止	C*	
		R3	—	イベント中止	C*	
		R4	—	イベント中止	C*	
		R5	—	イベント不参加	C	
		R6	6校（累計）			
評価理由		交通安全子供自転車島根県大会への参加見送りのため				
今後取組		警察署が開催する自転車交通安全教室時に子ども対象のリーフレットを配布し、安全な自転車利用を呼び掛ける				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	13-2
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	協働のひとづくり推進課	
基本方針	Ⅱ 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換					
施策体系	方向性	9_自転車に親しむ機会の創出				
	施策	13 初心者から参加できる自転車教室の開催				
根拠事業	サイクルスポーツ振興事業					
実施主体	市民団体、NPO法人、自治組織、企業等					
取組内容	自転車教室の開催					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	—		
	R3	—	—	—		
	R4	—	—	—		
	R5	2回	2回（見込み）	B		
	R6	—	—	—		
評価理由	サイクルスポーツ振興事業補助金の活用し、だれでも参加できるイベントを実施する見込みがあるが、申請や交付決定までには至ってない。小森アドバイザーの指導のもと中学生を対象に教室（トレーニング）を実施する見込みがある。					
今後取組	サイクルスポーツ振興事業補助金の活用について、周知を図る					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	14-1
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	健康増進課	
基本方針		Ⅱ 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換				
施策体系		方向性	9_自転車に親しむ機会の創出			
		施策	14 自転車による健康教室の開催			
根拠事業		自転車による健康運動教室事業				
実施主体		健康増進課				
取組内容		<ul style="list-style-type: none"> ・自転車と健康の効果を学び実践する健康教室開催の検討 ・自転車を含めた運動に関する普及啓発活動の実施 				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	0回	—	
		R2	—	0回	C*	
		R3	—	0回	C*	
		R4	—	0回	C*	
		R5	1回	1回	B	
		R6	2回			
評価理由		生活習慣病予防の健康教室において、肥満・運動不足の解消の中で、運動メニューの1つに自転車活用を紹介した				
今後取組		健康づくりのために、運動習慣を定着の啓発は必要であり、自転車を含め、運動に関する普及啓発活動は継続実施。				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	14-2
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	協働のひとづくり推進課
基本方針	Ⅱ 自転車を活用した健康で心豊かなライフスタイルへの転換				
施策体系	方向性	9_自転車に親しむ機会の創出			
	施策	14_自転車による健康教室の開催			
根拠事業	サイクルスポーツ振興事業				
実施主体	市民団体、NPO法人、自治組織、企業等				
取組内容	健康教室の開催				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	—	—	—	
	R2	—	—	—	
	R3	—	—	—	
	R4	—	—	—	
	R5	2回	0回	C	
	R6	—	—	—	
評価理由	サイクルスポーツ振興事業補助金の活用し、だれでも参加できるイベントを実施する見込みがあるが、申請や交付決定までには至っていない。				
今後取組	サイクルスポーツ振興事業補助金の活用について、周知を図る				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	15
実施期間	短期	重点施策		担当課名	観光交流課	
基本方針		Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり				
施策体系		方向性	10_サイクリングコースの整備			
		施策	15 サイクリングコースの案内サインの設置			
根拠事業		サイクリストおもてなし事業				
実施主体		益田市				
取組内容		企業版ふるさと納税を活用したサイクリスト用の道路案内サインの設置				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	平成29年に開催された第87回全日本自転車競技選手権大会ロード・レースのコース「2018全日本コース」への案内サインを設置	—	
		R2	—	「100ZERO」コース上の大きな分岐点に案内サインを設置	A*	
		R3	—	「100ZERO」コース上で令和2年度事業の不足ヶ所への案内サインを設置	A*	
		R4	—	「2018全日本コース」1か所、「100ZERO」コース2か所の道路案内サイン修繕を実施	A*	
		R5	益田市が誇る100km走っても信号で止まる回数がゼロの「100ZERO」コースへの案内サインの設置	設置済み	A	
		R6	益田市が誇る100km走っても信号で止まる回数がゼロの「100ZERO」コースへの案内サインの設置			
評価理由		「100ZEROコース」及び「2018全日本コース」への案内サインは設置済みのため				
今後取組		引き続き設置した案内サインの維持管理を実施				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	16
実施期間	長期	重点施策		担当課名	観光交流課	
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり					
施策体系	方向性	10_サイクリングコースの整備				
	施策	16 サイクリングコース沿線の立ち寄るスポットの整備				
根拠事業	サイクリストおもてなし事業					
実施主体	市内事業所					
取組内容	益田市サイクリストサポート企業の登録促進と情報発信					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	81事業所	—		
	R2	84事業所	104事業所	A*		
	R3	87事業所	111事業所	A*		
	R4	90事業所	114事業所	A*		
	R5	93事業所	112事業所	A		
	R6	96事業所				
評価理由	目標数を超えた事業所に登録いただいているため					
今後取組	HP等で登録の呼びかけ及び企業紹介を実施					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	17
実施期間	長期	重点施策		担当課名	観光交流課	
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり					
施策体系	方向性	10_サイクリングコースの整備				
	施策	17 県や他市町との連携による広域サイクリングルートへの検討				
根拠事業	サイクリストおもてなし事業					
実施主体	益田市					
取組内容	県や他市町との連携による広域サイクリングルートへの検討					
進捗管理		目標	実績			評価
	R1	—	—			—
	R2	—	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインサイクリングイベントの実施（高津川都市交流協議会） ・サイクリストのインフルエンサー「おおやようこ」氏による現地ロケの実施。SNS、Youtube等で情報発信（高津川都市交流協議会） ・Youtuber「けんたさん」による益田～津和野コースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会） 			A*
	R3	—	<ul style="list-style-type: none"> ・Youtuber「けんたさん」IWA-IWAライドコースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会） 			A*
	R4	—	<ul style="list-style-type: none"> ・トライアングル10月号での情報発信（IWA-IWAライドコース）（ピュアライン岩国・益田観光連絡協議会） 			A*
	R5	既存の広域サイクリングルートの広報	<ul style="list-style-type: none"> ・月刊誌「河川」での既存のサイクリングルートほか、益田市の自転車によるまちづくりやかわまちづくりに関する記事の掲載 			B
	R6	既存の広域サイクリングルートを県や他市町との連携し広報する				
評価理由	広域サイクリングルートの広報については、他市町とも連携し更なる広報が必要であるため					
今後取組	広域連携、首都圏・関西圏へのPRを継続実施し、「自転車のまち 益田」の認知度向上を図る					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	18
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり					
施策体系	方向性	11_サイクリストの受入れ体制の整備				
	施策	18 サイクリストサポート体制の充実化				
根拠事業	サイクリストおもてなし事業					
実施主体	サイクリストサポート企業、益田市					
取組内容	益田市サイクリストサポート企業の登録促進と情報発信					
進捗管理		目標	実績		評価	
	R1	—	81事業所		—	
	R2	84事業所	104事業所		A*	
	R3	87事業所	111事業所		A*	
	R4	90事業所	114事業所		A*	
	R5	93事業所	112事業所		A	
	R6	96事業所				
評価理由	目標数を超えた事業所に登録いただいているため					
今後取組	HP等で登録の呼びかけ及び企業紹介を実施					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」=参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	19
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針		Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり				
施策体系		方向性	11_サイクリストの受入れ体制の整備			
		施策	19 手荷物搬送サービスの検討			
根拠事業		サイクリストおもてなし事業				
実施主体		石見空港ターミナルビル(株)				
取組内容		市外からのサイクリストが、駅や空港に到着してそのまま走り出せるよう、ホテル等への手荷物搬送を実施				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	—	—	
		R2	—	—	C*	
		R3	—	令和4年3月より手荷物搬送サービス開始	C*	
		R4	—	手荷物搬送サービスの継続 (実績 0件)	A*	
		R5	手荷物搬送サービスの継続	手荷物搬送サービス R5.6にサービス中止	B	
		R6	手荷物搬送サービスの継続			
評価理由		実際にサービスを開始し、その間空港やHP、チラシ等でPRしたものの、実績が0であったため、サービスを中止したが、一方で実際に行ってみなければわからなかったデータ修正ができたため。				
今後取組		首都圏でのPRを実施				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	20
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり					
施策体系	方向性	11_サイクリストの受入れ体制の整備				
	施策	20 ガイドを兼ねたアテンドライダーの養成と活用の検討				
根拠事業	自転車活用推進事業					
実施主体	一般社団法人益田市観光協会、益田市					
取組内容	アテンドライダーの養成と活用の検討し、サイクリスト誘客環境の整備を行う					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	C*		
	R3	—	—	C*		
	R4	—	自転車での観光案内を検討中 (益田市観光協会)	B*		
	R5	アテンドライダー養成を検討	・サイクリングツアーの造成 ・ツアーコースを案内するガイド 養成講座の実施 (益田の歴史文化を活かした観光 拠点づくり実行委員会)	A		
	R6	アテンドライダーの活用を検討				
評価理由	自転車での観光案内コースの造成とガイド養成を実施できたため。					
今後取組	アテンドライダーの活用を検討する					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	21
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり					
施策体系	方向性	12_地域巡り・交流を楽しめるサイクルツーリズムの創出				
	施策	21 地域資源を活かした体験・交流型プログラム・ツアーの考案				
根拠事業	サイクリストおもてなし事業					
実施主体	一般社団法人益田市観光協会、益田市					
取組内容	地域の魅力を発信し、体験・交流型プログラム・ツアーの考案を行う					
進捗管理		目標		実績		評価
	R1	—		—		—
	R2	—		・都市圏在住者対象のオンラインサイクリングイベントの実施（高津川都市交流協議会/益田、吉賀、津和野の3市町連携事業）		A*
	R3	—		—		C*
	R4	—		益田市観光協会自転車体験造成（チェアリング×サイクリング）		B*
	R5	自転車を活用した、体験プログラム・ツアーを造成する。		益田市観光協会自転車体験造成（チェアリング×サイクリング）		A
	R6	1回/年				
評価理由	観光協会にて観光コンテンツとしてチェアリング×サイクリングを造成					
今後取組	体験・交流型プログラム・ツアーの開催について検討する					

【実施期間】短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	22
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり					
施策体系	方向性	12_地域巡り・交流を楽しめるサイクルツーリズムの創出				
	施策	22 まち乗りサイクリングの推進のための情報発信				
根拠事業	自転車活用推進事業					
実施主体	市民団体、NPO法人、自治組織、企業					
取組内容	市民向けサイクリングイベントの開催支援を行う (R4年度以降 益田市自転車活用推進事業補助金)					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	5回	—		
	R2	—	1回	C*		
	R3	—	2回	C*		
	R4	—	補助金 2件 開催支援 1件	C*		
	R5	4回	補助金 5件 (見込み) 開催支援 2件 (見込み)	A*		
	R6	8回				
評価理由	補助金周知により、補助金を活用したサイクリングイベント増のため					
今後取組	イベント実施や実施者の支援、情報発信について検討する					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	23
実施期間	長期	重点施策		担当課名	観光交流課
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり				
施策体系	方向性	13_イベント・大会の市民への定着			
	施策	23 大会参加者だけでなく、市民も一緒に楽しめるイベントの併催			
根拠事業	-				
実施主体					
取組内容	取組みなし				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	-	-	-	-
	R2	-	-	-	C*
	R3	-	-	-	C*
	R4	-	1回 サイクリングイベント「益田 INAKAライド」に合わせて自転車 と益田のアクティビティが体験で きるイベントを実施	1回 サイクリングイベント「益田INAKA ライド」に合わせて自転車と益田のア クティビティが体験できるイベントを 実施（民間事業者）	B*
	R5	-	1回 サイクリングイベント「益田INAKA ライド」に合わせて自転車と益田のア クティビティが体験できるイベントを 実施（民間事業者）	1回 サイクリングイベント「益田INAKA ライド」に合わせて自転車と益田のア クティビティが体験できるイベントを 実施（民間事業者）	B
	R6	-			
今後取組	大会参加者だけでなく、市民も一緒に楽しめるイベントの併催の検討				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	24
実施期間	長期	重点施策		担当課名	観光交流課
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり				
施策体系	方向性	13_イベント・大会の市民への定着			
	施策	24 イベントや大会参加者の動向把握			
根拠事業	-				
実施主体	NPO法人益田市町おこしの会、市民団体、益田市				
取組内容	サイクリングイベント益田INAKAライド参加者の動向把握				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	-	-	-	-
	R2	-	-	-	C*
	R3	-	-	-	C*
	R4	-	益田INAKAライド参加者の性別と居住地域の把握 県内 78名 (男性70名、女性8名) 県外 171名 (男性147名、女性24名)		C*
	R5	併催する催しについて検討	1回 サイクリングイベント「益田INAKAライド」に合わせて自転車と益田のアクティビティが体験できるイベントを実施（民間事業者）		A
	R6	自転車イベントや大会での催しを併催する			
評価理由	民間事業者による益田INAKAライドと併催したイベントが実施されたため				
今後取組	自転車イベントや大会主催者と催しの併催について検討する				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	25-1
実施期間	短期	重点施策		担当課名	観光交流課
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり				
施策体系	方向性	13_イベント・大会の市民への定着			
	施策	25 国内外で活躍している選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出			
根拠事業	東京オリンピックパラリンピックキャンプ推進事業				
実施主体	益田市				
取組内容	国内外で活躍している選手の招待や合宿誘致、合流の場の創出				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	—	2回	—	
	R2	—	0回(コロナによる東京2020大会延期のため)	C*	
	R3	—	アイルランドパラ代表 事前キャンプ1回 小学生とアイルランドの交流 2回(オンライン)	A*	
	R4	—	・アイルランド選手の招待 ・市民向けの交流会とサイクリングイベントの実施	A*	
	R5	選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出について随時検討する	R6.3実施に向けて検討中(協働のひとづくり推進課)	A	
	R6	選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出について随時検討する			
評価理由	年度内での実施見込みのため				
今後取組	選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出について検討する				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	25-2
実施期間	短期	重点施策		担当課名	協働のひとづくり推進課
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり				
施策体系	方向性	13_イベント・大会の市民への定着			
	施策	25 国内外で活躍している選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出			
根拠事業					
実施主体	益田市				
取組内容	国内外で活躍している選手の招待や合宿誘致、合流の場の創出				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	—	2回	—	
	R2	—	0回(コロナによる東京2020大会延期のため)	C*	
	R3	—	アイルランドパラ代表 事前キャンプ1回 小学生とアイルランドの交流 2回(オンライン)	A*	
	R4	—	・アイルランド選手の招待 ・市民向けの交流会とサイクリングイベントの実施	A*	
	R5	選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出について随時検討する	1回	A	
	R6	選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出について随時検討する			
評価理由	一般社団法人益田市スポーツ協会への委託事業において、合宿誘致・交流の場の創出の見込みがあるため。				
今後取組	選手の招待や合宿誘致、交流の場の創出について検討する				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	26
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり					
施策体系	方向性	14_サイクリストを受け入れる市民のホスピタリティの向上				
	施策	26 サイクリストに対する市民のおもてなしの意識醸成				
根拠事業	サイクリストおもてなし事業					
実施主体						
取組内容	自転車イベント等でのボランティア活動や沿道声援等の参加を促す広報の実施 サイクリストサポート企業の充実					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	81事業所	—		
	R2	84事業所	104事業所	A*		
	R3	87事業所	111事業所	A*		
	R4	90事業所	114事業所	A*		
	R5	93事業所	112事業所	A		
	R6	96事業所				
評価理由	目標数を超えた事業所に登録いただいているため					
今後取組	HP等で登録の呼びかけ及び企業紹介を実施					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	27
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針	Ⅲ 来訪者が自転車で地域を楽しみ・市民と交流できる魅力ある観光地域づくり					
施策体系	方向性	15_効果的な情報発信				
	施策	27 サイクリングマップの改訂				
根拠事業	サイクリストおもてなし事業					
実施主体	益田市					
取組内容	サイクリングマップを活用し、効果的な情報発信を行う					
進捗管理		目標	実績		評価	
	R1	—	企業版ふるさと納税を活用しサイクリングマップを作成		—	
	R2	—	サイクリングマップ改訂		A*	
	R3	—	英語版サイクリングマップを作成		A*	
	R4	—	サイクリングマップの情報更新		A*	
	R5	必要に応じてサイクリングマップの情報更新を行う	昨年度情報更新したものを増刷		A	
	R6	必要に応じてサイクリングマップの情報更新を行う				
評価理由	適宜情報を更新・増刷し、広報に努めているため					
今後取組	サイクリングマップを活用した効果的な情報発信の検討					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	28
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	28 首都圏・関西圏からのサイクリストの誘客PR活動の推進				
根拠事業	サイクリストおもてなし事業					
実施主体	益田市					
取組内容	首都圏・関西圏からのサイクリストの誘客PR活動					
進捗管理		目標	実績			評価
	R1	—	本市の認知度の割合 首都圏 32% 関西圏 50% ※自転車展示会でのアンケート調査結果			—
	R2	—	・オンラインサイクリングイベントの実施（高津川都市交流協議会） ・サイクリストのインフルエンサー「おおやようこ」氏による現地口ケの実施。SNS、Youtube等で情報発信（高津川都市交流協議会） ・Youtuber「けんたさん」による益田～津和野コースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会）			A*
	R3	—	・Youtuber「けんたさん」IWA-IWAライドコースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会）			A*
	R4	—	本市の認知度調査結果 首都圏 43% 関西圏 42.5% サイクリスト向けイベントでのアンケート調査結果 ・CYCLE MODE TOKYO出展（R4.4月） ・CYCLE MODE RIDE OSAKA出展（R5.3月）			A*
	R5	本市の認知度の割合 首都圏 40% 関西圏 50%	本市の認知度調査結果 首都圏 47.9% 関西圏 0% ・CYCLE MODE TOKYO出展（R5.4月） ・CYCLE MODE RIDE OSAKA出展（R6.3月）※予定			A
	R6	本市の認知度の割合 首都圏 40% 関西圏 60%				
評価理由	継続的な広報やイベント出展により、認知度は少しずつ増加傾向にあるため					
今後取組	首都圏・関西圏へのPRを継続実施し、「自転車のまち 益田」の認知度向上を図る					

【実施期間】短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	29
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針		IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり				
施策体系		方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進			
		施策	29 インフルエンサーによるサイクリングツアーの実施			
根拠事業		サイクリストおもてなし事業				
実施主体		益田市				
取組内容		「自転車のまち 益田」の魅力等を発信する方法を検討				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	本市の認知度の割合 首都圏 32% 関西圏 50% ※自転車展示会でのアンケート調査結果	—	
		R2	—	・オンラインサイクリングイベントの実施（高津川都市交流協議会） ・サイクリストのインフルエンサー「おおやようこ」氏による現地ロケの実施。SNS、Youtube等で情報発信（高津川都市交流協議会） ・Youtuber「けんたさん」による益田～津和野コースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会）	A*	
		R3	—	・Youtuber「けんたさん」IWA-IWAライドコースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会）	A*	
		R4	—	本市の認知度調査結果 首都圏 43% 関西圏 42.5% サイクリスト向けイベントでのアンケート調査結果 ・CYCLE MODE TOKYO出展（R4.4月） ・CYCLE MODE RIDE OSAKA出展（R5.3月）	A*	
		R5	本市の認知度の割合 首都圏 40% 関西圏 50%	本市の認知度調査結果 首都圏 47.9% 関西圏 0% ・CYCLE MODE TOKYO出展（R5.4月） ・CYCLE MODE RIDE OSAKA出展（R6.3月）※予定	A	
		R6	本市の認知度の割合 首都圏 40% 関西圏 60%			
評価理由		継続的な広報やイベント出展により、認知度は少しずつ増加傾向にあるため				
今後取組		首都圏・関西圏へのPRを継続実施し、「自転車のまち 益田」の認知度向上を図る				

【実施期間】短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	30
実施期間	短期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	30 広域連携による一体的な情報発信				
根拠事業	サイクリストおもてなし事業					
実施主体	益田市、周辺自治体					
取組内容	広域連携による一体的な情報発信を検討					
進捗管理		目標	実績			評価
	R1	—	本市の認知度の割合 首都圏 32% 関西圏 50% ※自転車展示会でのアンケート調査結果			—
	R2	—	・オンラインサイクリングイベントの実施（高津川都市交流協議会） ・サイクリストのインフルエンサー「おおやようこ」氏による現地口ケの実施。SNS、Youtube等で情報発信（高津川都市交流協議会） ・Youtuber「けんたさん」による益田～津和野コースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会）			A*
	R3	—	・Youtuber「けんたさん」IWA-IWAライドコースの情報発信（萩・石見空港利用促進協議会）			A*
	R4	—	本市の認知度調査結果 首都圏 43% 関西圏 42.5% サイクリスト向けイベントでのアンケート調査結果 ・CYCLE MODE TOKYO出展（R4.4月） ・CYCLE MODE RIDE OSAKA出展（R5.3月）			A*
	R5	本市の認知度の割合 首都圏 40% 関西圏 50%	本市の認知度調査結果 首都圏 47.9% 関西圏 0% ・CYCLE MODE TOKYO出展（R5.4月） ・CYCLE MODE RIDE OSAKA出展（R6.3月）※予定			A
	R6	本市の認知度の割合 首都圏 40% 関西圏 60%				
評価理由	継続的な広報やイベント出展により、認知度は少しずつ増加傾向にあるため					
今後取組	首都圏・関西圏へのPRを継続実施し、「自転車のまち 益田」の認知度向上を図る					

【実施期間】短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	31
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	危機管理課	
基本方針		IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり				
施策体系		方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進			
		施策	31 「自転車安全五則」による自転車乗用時の交通ルールの徹底			
根拠事業		自転車マナーアップ運動				
実施主体		益田市交通対策協議会・益田市交通安全協会 益田地区安全運転管理者協会・益田警察署				
取組内容		自転車マナーアップモデル校指定式				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	年1校	—	
		R2	—	1校（益田東中学校）	A	
		R3	—	2校（益田中学校、益田東高等学校）	A	
		R4	—	2校（高津中学校、益田高等学校）	A	
		R5	2校	1校（横田中学校）	B	
		R6	5校（累計）			
評価理由		目標2校に対して、実績が1校であったため				
今後取組		各種交通安全イベントの機会等を通じて、「自転車安全五則」による自転車乗用時の交通ルールの普及を図る。				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	32-1
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	学校教育課（教育委員会）	
基本方針	IV 交通ルールへの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	32-1 保幼こ・小・中・高における各年齢段階での交通安全教室の推進				
根拠事業	国の第2次学校安全の推進に関する計画「全ての学校において、学校教育活動全体を通じた安全教育※を実施する。」※安全教育＝交通安全教育、防災教育、防犯教育など					
実施主体	各小中学校					
取組内容	交通安全教室の開催					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	卒業までの受講回数 小学校：平均3.1回 中学校：平均1.1回	—		
	R2	—	小学校：4.1回 中学校：0.9回	B*		
	R3	—	小学校：4.8回 中学校：0.9回	B*		
	R4	—	小学校：4.5回 中学校：1.1回	B*		
	R5	小学校：6回 中学校：3回	小学校：4.6回 中学校：1.1回	B		
	R6	小学校：6回 中学校：3回				
評価理由	目標達成には至っていないが、昨年度より増加しているため。					
今後取組	交通安全教育も必要に応じて適切に行っていく必要がある。引き続き各小中学校に働きかけていく。					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	32-2
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	子ども福祉課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	32-2 保幼こ・小・中・高における各年齢段階での交通安全教室の推進				
根拠事業	—					
実施主体	幼児教育・保育施設及び各PTA					
取組内容	保護者が運転する自転車に幼児を同乗させる際の安全運転に関する啓発					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	保育及び放課後児童クラブにおいて、取組なし	C*		
	R3	—	保育及び放課後児童クラブにおいて、取組なし	C*		
	R4	—	保育及び放課後児童クラブにおいて、取組なし	C*		
	R5	啓発パンフ等の配布	保育及び放課後児童クラブにおいて、取組なし	C		
	R6	—				
評価理由	計画等の内容等について確認を行ったが実施に至らなかった。					
今後取組	保護者を対象とした行事の中で、啓発を実施する。					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	33
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	危機管理課
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり				
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進			
	施策	33 家庭に対する交通安全教室の推進			
根拠事業	—				
実施主体	益田市交通対策協議会				
取組内容	リーフレット等を活用した家庭での取り組みの呼びかけ				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	—	—	—	
	R2	—	—	C*	
	R3	—	—	C*	
	R4	—	—	C*	
	R5	—	危険予測トレーニングリーフレット等を活用し、中高生に対する自転車交通安全教室時に生徒に配布し、家庭での取り組みを呼び掛けた。	B	
	R6	—			
評価理由	既存の交通安全イベント等で呼びかけをし、家庭での取り組みを推進したため				
今後取組	危険予測トレーニングリーフレット等を活用し、中高生に対する自転車交通安全教室時に生徒に配布し、家庭での取り組みを呼び掛ける				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	34
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	観光交流課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	34 企業への出前講座による交通安全教室の推進				
根拠事業	—					
実施主体	市内団体・企業					
取組内容	交通安全教室等の開催支援を行う (R4年度以降 益田市自転車活用推進事業補助金)					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	C*		
	R3	—	—	C*		
	R4	—	—	C*		
	R5	2回	観光協会にて補助金を活用した安全教室開催を検討中	B		
	R6	2回				
評価理由	サイクリングイベントと安全教室の併催の検討がひとつようであるため。					
今後取組	関係機関と連携を図りながら、取り組みの支援					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	35
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	高齢者福祉課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	35 高齢者に対する交通安全教育の推進				
根拠事業	—					
実施主体	（※依頼元は高齢者福祉課 依頼先は老人クラブ連合会を想定）					
取組内容	高齢者向けの交通安全教育の推進					
進捗管理		目標	実績		評価	
	R1	—	交通安全教室等 4回		—	
	R2	—	0回			
	R3	—	0回		C*	
	R4	—	1回		B*	
	R5	—	1回		B	
	R6	—				
評価理由	高齢者向けの運転マナー研修を開催し、警察の指導による交通安全教育の推進が図れたため					
今後取組	老人クラブ等の団体に対し、交通安全教室等の開催を働きかける。					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	36
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	障がい者福祉課	
基本方針		IV 交通ルールへの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり				
施策体系		方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進			
		施策	36 障がい者に対する交通安全教育の推進			
根拠事業		—				
実施主体		益田市自立支援協議会				
取組内容		事業所等へ交通安全教育の実施を依頼する				
進捗管理			目標	実績	評価	
		R1	—	—	—	
		R2	—	—	C*	
		R3	—	—	C*	
		R4	—	—	C*	
		R5	1事業所	—	C	
		R6	—			
評価理由		未実施のため				
今後取組		実施依頼について委員から難しいとの話もあったが、障がいのある方に限らず施設側の取組も必要なことから、自立支援協議会内で交通安全教室を開催する、各事業所等に交通安全教室の開催依頼を出すことを提案する。				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	37
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	危機管理課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	37 自動車ドライバーに対する車道シェア・思いやり運転意識の啓発				
根拠事業	春・秋の全国交通安全運動					
実施主体	益田市交通対策協議会・益田市交通安全協会 益田地区安全運転管理者協会・益田警察署					
取組内容	益田市交通安全ささえ愛2000					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	交通安全イベント 年2回	—		
	R2	—	1回	A*		
	R3	—	2回	A*		
	R4	—	2回	A*		
	R5	2回	1回（秋は雨天のため中止）	B		
	R6	交通安全イベント 年2回				
評価理由	2回/年の開催を予定していたが、雨天により秋の開催は中止となったため					
今後取組	継続して同イベントを行い、自動車ドライバーに対する車道シェア・思いやり運転意識の啓発活動を実施。					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	38-1
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	危機管理課	
基本方針	IV 交通ルールへの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	38-1 損害賠償責任保険を備える自転車保険等への加入促進				
根拠事業	—					
実施主体	益田市交通対策協議会					
取組内容	リーフレット等を活用した自転車保険等への加入促進					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	C*		
	R3	—	—	C*		
	R4	—	—	C*		
	R5	—	自転車保険等への加入促進リーフレットを活用し、中高生に対する自転車交通安全教室時に生徒に配布し、加入促進を呼び掛けた。 交通安全運動期間中に、お知らせ放送により自転車保険等への加入を呼び掛けた。	B		
	R6	—				
評価理由	既存のリーフレットを活用し、自転車保険等への加入促進を行ったため					
今後取組	自転車保険等への加入促進リーフレットを活用し、中高生に対する自転車交通安全教室時に生徒に配布し、加入促進を呼び掛ける					

【実施期間】短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	38-2
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	学校教育課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	38-2 損害賠償責任保険を備える自転車保険等への加入促進				
根拠事業	—					
実施主体	各小中学校					
取組内容	学校ごとにチラシの配布等による保護者への周知					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	実施校数 小学校：4校	B*		
	R3	—	実施校数 小学校：4校 中学校：9校	C*		
	R4	—	実施校数 小学校：3校 中学校：7校	C*		
	R5	全小中学校 小学校：15校 中学校：9校	実施校数 小学校：14校 中学校：9校	B		
	R6	全小中学校 小学校：15校 中学校：9校				
評価理由	通学において自転車を利用する中学校ではほとんど実施されているが、通学において自転車を利用することのない小学校では、全校実施には至らなかった。					
今後取組	引き続き各小中学校へ働き掛けていく。					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	38-3
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	高齢者福祉課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	38-3 損害賠償責任保険を備える自転車保険等への加入促進				
根拠事業	—					
実施主体	チラシ作成の主体は高齢者福祉課					
取組内容	老人クラブ等の団体に対し、自転車保険等のチラシを配布。					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	C*		
	R3	—	—	C*		
	R4	—	交通安全教室での説明及びチラシの配布	B*		
	R5	—	広報ますだで損害賠償責任保険への加入促進記事を掲載	B		
	R6	—				
評価理由	広報ますだ8月号にて損害賠償責任保険への加入を促進記事を掲載したものの、老人クラブ当等の団体に対する直接的な働きかけは未実施のため					
今後取組	老人クラブ等の団体に対し、交通安全教室等の開催を働きかけ、その中で制度の周知を継続する。					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	38-4
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	障がい者福祉課	
基本方針	IV 交通ルールへの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	38-4 損害賠償責任保険を備える自転車保険等への加入促進				
根拠事業	—					
実施主体	益田市自立支援協議会					
取組内容	事業所等に制度の周知を行う					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	C*		
	R3	—	—	C*		
	R4	—	—	C*		
	R5	—	自転車保険等への加入促進リーフレットを活用し、中高生に対する自転車交通安全教室時に生徒に配布し、加入促進を呼び掛けた。 交通安全運動期間中に、お知らせ放送により自転車保険等への加入を呼び掛けた。	B		
R6	—					
評価理由	既存のリーフレットを活用し、自転車保険等への加入促進を行ったため					
今後取組	各事業所等に制度の周知及び可能促進を進めていきたい。パンフレット等があれば助かります。					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」 = 参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	38-5
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	子ども福祉課	
基本方針	IV 交通ルールへの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	38-5 損害賠償責任保険を備える自転車保険等への加入促進				
根拠事業	—					
実施主体	幼児教育・保育施設及び各PTA					
取組内容	小学校入学を自転車運転の開始の時期と捉え、保険加入の必要性について周知するための啓発					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	C*		
	R3	—	—	C*		
	R4	—	—	C*		
	R5	啓発パンフ等の配布	広報ますだで損害賠償責任保険への加入促進記事を掲載	B		
	R6	—				
評価理由	広報ますだ8月号にて損害賠償責任保険への加入を促進記事を掲載したものの、幼児教育・保育施設及びPTAへ計画等の内容等について確認を行ったが実施に至らなかった。					
今後取組	各種交通安全イベント等に併せ、損害賠償責任保険を備える自転車保険等への加入促進に向けた広報啓発活動を実施					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	39-1
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	危機管理課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	39-1 自転車点検の励行と整備方法に関する広報啓発				
根拠事業	-					
実施主体	益田市交通対策協議会					
取組内容	リーフレット等を活用した自転車点検の励行を呼び掛け					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	-	-	-		
	R2	-	-	C*		
	R3	-	-	C*		
	R4	-	-	C*		
	R5	-	自転車保険等への加入促進リーフレットを活用し、中高生に対する自転車交通安全教室時に生徒に配布し、加入促進を呼び掛けた。 交通安全運動期間中に、お知らせ放送により自転車保険等への加入を呼び掛けた。	B		
	R6	-				
評価理由	既存のリーフレットを活用し、自転車保険等への加入促進を行ったため					
今後取組	自転車点検の励行について掲載されたリーフレットを活用し、自転車交通安全教室時に児童・生徒に配布し、自転車点検の励行を呼び掛ける					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	39-2
実施期間	長期	重点施策	○	担当課名	学校教育課	
基本方針	IV 交通ルールへの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	16_市民生活における自転車の安全な利用、安全利用教育の推進				
	施策	39-2 自転車点検の励行と整備方法に関する広報啓発				
根拠事業	国の第2次学校安全の推進に関する計画「全ての学校において、学校教育活動全体を通じた安全教育※を実施する。」※安全教育＝交通安全教育、防災教育、防犯教育など					
実施主体	各小中学校					
取組内容	学校ごとに、交通安全教室に併せた自転車の点検整備の実施、周知・啓発等					
進捗管理		目標	実績		評価	
	R1	—	—		—	
	R2	—	実施校数 小学校：11校 中学校：7校		B*	
	R3	—	実施校数 小学校：13校 中学校：6校		B*	
	R4	—	実施校数 小学校：14校 中学校：8校		B*	
	R5	全小中学校 小学校：15校 中学校：9校	実施校数 小学校：13校 中学校：7校		B	
R6	全小中学校 小学校：15校 中学校：9校					
評価理由	交通安全教室等で、点検整備や警察等による周知・啓発が行われている。					
今後取組	児童生徒の身の安全にもつながるものであるため、引き続き各小中学校に働きかけていく。					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	40
実施期間	長期	重点施策		担当課名	学校教育課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	17_自転車通行空間の安全点検の実施				
	施策	40 通学路における安全点検の実施				
根拠事業	益田市教育委員会通学路交通安全プログラム					
実施主体	益田市教育委員会					
取組内容	学校から出た通学路上の危険箇所について、学校関係者、道路管理者等と現地を点検し、対応について協議					
進捗管理		目標	実績		評価	
	R1	—	—		—	
	R2	—	合同点検実施 13か所		A*	
	R3	—	合同点検実施 21か所		A*	
	R4	—	合同点検実施 9か所		A*	
	R5	各小中学校による点検結果報告に基づき、精査後、必要箇所について合同点検を行う	合同点検実施 16か所		A	
	R6	各小中学校による点検結果報告に基づき、精査後、必要箇所について合同点検を行う				
評価理由	対応可能な箇所については安全性が着実に改善されている。					
今後取組	学校による安全指導のより一層の充実が図られるよう、引き続き各小中学校に働きかけていく。					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票				施策番号	41
実施期間	長期	重点施策		担当課名	土木課、観光交流課
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり				
施策体系	方向性	17_自転車通行空間の安全点検の実施			
	施策	41 サイクリングコースの合同安全点検の実施			
根拠事業	—				
実施主体	国土交通省、島根県益田県土整備事務所、島根県益田警察署 益田市（観光交流課・土木課）				
取組内容	サイクリングコースを検討するため、実施主体者と協議する。				
進捗管理		目標	実績	評価	
	R1	—	道路管理者による通常点検を実施	—	
	R2	—	道路管理者による通常点検を実施	C*	
	R3	—	道路管理者による通常点検を実施	C*	
	R4	—	道路管理者による通常点検を実施	C*	
	R5	益田市自転車ネットワーク計画に基づき整備形態の検討	益田市自転車ネットワーク計画策定完了 工事に一部着手	A	
R6	益田市自転車ネットワーク計画に基づくハード整備の進捗が10%を超えているか				
評価理由	益田市自転車ネットワーク計画策定完了し、工事に一部着手しているため				
今後取組	合同安全点検について検討していく。				

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	42
実施期間	長期	重点施策		担当課名	危機管理課	
基本方針	IV 交通ルールへの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	17_自転車通行空間の安全点検の実施				
	施策	42 自転車の交通安全教室に係る人材の育成				
根拠事業	—					
実施主体	益田市交通指導員連絡会					
取組内容	研修等による交通安全に係る人材育成					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	C*		
	R3	—	—	C*		
	R4	—	—	C*		
	R5	—	益田市交通指導員連絡会総会時に、危険予測トレーニングリーフレット等を活用して、人材の育成に努めた。	B		
	R6	—				
評価理由	総会等の交通指導員が集まるタイミングに合わせて、危険予測に関する人材育成に取り組んだため。					
今後取組	危険予測トレーニングリーフレット等を活用し、交通指導員会合時に活用し、人材育成に努める					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。

益田市自転車活用推進計画 施策調査票					施策番号	43
実施期間	長期	重点施策		担当課名	観光交流課	
基本方針	IV 交通ルールの遵守・他者への配慮による安全で安心なまちづくり					
施策体系	方向性	17_自転車通行空間の安全点検の実施				
	施策	43 損害賠償責任保険への加入義務の条例化の検討				
根拠事業	—					
実施主体	益田市					
取組内容	取組なし					
進捗管理		目標	実績	評価		
	R1	—	—	—		
	R2	—	—	C*		
	R3	—	—	C*		
	R4	—	—	C*		
	R5	—	—	C*		
	R6	損害賠償責任保険への加入義務条例化の検討				
評価理由	未実施のため					
今後取組	損害賠償責任保険への加入義務条例化の検討					

【実施期間】 短期：計画期間（5年）内に実施を完了する施策 長期：計画期間をこえて長期的に取り組む施策

【進捗評価】 A:順調に進捗（ほぼ計画通り） B:少し進捗 C:進捗なし

【「*」＝参考】 R4年度までは前年度に対する進捗を評価したのに対し、R5年度より評価基準を変更し、その年の目標に対して進捗を3段階（A/B/C）で評価することとした。